

平成 27 年 8 月 31 日開催 NBK「夏のビッグイベント 2015」報告書

8 月 31 日(月)、兵庫工業会、ひょうご産業活性化センター、兵庫県中小企業団体中央会と NBK の 4 経済団体が共催で、神戸市にあるホテルオークラ神戸で、14 回目となる「夏のビッグイベント 2015」を開催しました。NBK では、当時の井植敏 NBK 会長の基調講演依頼があった 2004 年から、本イベントに参加しています。

今回は 3 部構成で、第 1 部を主催団体別に 4 つのテーマに分けて開催。NBK は「地方創生はニュービジネスから」をテーマに、日本ニュービジネス協議会連合会(JNB)の池田弘会長をお招きし、ご講演いただきました。コーディネーターは松本茂樹理事。

第 1 部では、近畿経済産業局 総務企画部 企画課長 細川洋一様に「近畿地域における地方創生への取組について」と題し、近畿地域の最新の産官学連携事例や、近畿地区における、まち・ひと・しごと創生の長期ビジョンから、地方経済分析システム活用のメリット、尼崎市、長浜市、奈良県などの先駆的な取組み事例などをご講演いただきました。特に、事例を紹介するにとどまらず、近畿経産局が積極的に府県・市区町村・民間企業といった自治体連携を促し、ノウハウ自体を伝承しつつ他府県など横に広げていける取組をご説明いただきました。

池田弘 JNB 会長は、新潟の神社の宮司の家族として育った生い立ちから、人を育てるビジネスを創業しようと専門学校を設立したこと、人種や世代間などの壁を乗り越えてハイタッチできるムードを作り出せるスポーツの魅力に気づいたこと、「おらがチーム」「おらがまち」をキーワードにサッカー Jリーグ「アルビレックス新潟」の創設・ファンづくりに疾走されたこと、経世済民、経済的豊かさと幸福感が味わえる日本にするためのチャレンジする人材づくりなどについて熱く語られました。雇用を増やすことは、どこでも大変になっている。しかし、新しいビジネスにチャレンジする人を多く育て、支援することなら取り組みやすい。スポーツや音楽の分野では、世界で活躍できる日本人が増えつつあるなか、ビジネス分野では海外のグローバル企業のトップに就く日本経営者が育っていない。地方創生には、熱意のある若者+(あきらめずに突き進むほどの)馬鹿者+よそ者という 3 要素がそろっているようなチャレンジする人材を多く育て、501 社以上の創業を目指すエピソードは、参加者の多くがうなずき、惹きつけられる内容でした。ちなみに、アルビレックスとは、アルビレオ(白鳥座)+レックス(王)の造語。チームカラーのオレンジは、佐渡ヶ島に沈むまばゆい夕陽。ブルーは、日本海の色。

当日は、近畿経済産業局の職員の皆様や、春名卓 JNB 事務局総括も駆けつけていただきました。NBK からは、小松範行会長、小林宏至副会長、谷口宗男副会長、高野哲正専務理事、松本茂樹理事、吉田事務局長をはじめ兵庫ブロック会員などが参加されました。

第 2 部は、赤字続きで財政破たん寸前の状況から、職員を鼓舞し、今ある町の資源を最大限に活用しつつ、見事に再建された手腕が高く評価されている、島根県隠岐郡海士(あま)町長 山内道夫氏をお迎えし、「ないものはない～離島からの挑戦」をテーマに、基調講演を開催。

第 3 部は、井戸敏三兵庫県知事にご参加いただき、約 250 名で活況な懇親会を行いました。

